

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称：2 電気通信学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 1 教育水準 2 教育内容 【判断理由】</p> <p>【原文】 「教育課程の編成」については、研究科の目的に沿って基礎科目、専門科目等の科目区分の構成や内容が定められており、学部教育との接続を考慮した体系的なものとなっている。また、修了要件も適切に設定するなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更をお願いいたします。</p> <p>【修正文案】 「教育課程の編成」については、研究科の目的に沿って基礎科目、専門科目等の科目区分の構成や内容が定められ、学部教育との接続を考慮した体系的なものとなっており、修了要件も適切に設定されている。さらに、「ITスペシャリスト育成プログラム」に採択され、実践的ソフトウェア開発の教育を行うための専攻横断的カリキュラムを編成するなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。</p> <p>【理由】 本原案の3-2頁「情報システム学研究科 I 教育水準 2. 教育内容」の【判断理由】に「「ITスペシャリスト育成プログラム」に採択され、実践的ソフトウェア開発の</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、判定と判断理由の一部を修正する。</p> <p>【理由】 現況調査表を再確認したところ意見のとおりであったため、以下のとおり修正する。</p> <p>○判断理由 「「教育課程の編成」については、研究科の目的に沿って基礎科目、専門科目等の科目区分の構成や内容が定められ、学部教育との接続を考慮した体系的なものとなっており、修了要件も適切に設定されている。さらに、「ITスペシャリスト育成プログラム」に採択され、実践的ソフトウェア開発の教育を行うための専攻横断的カリキュラムを編成するなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。</p> <p>以上の点について、電気通信学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、電気通信学研究科が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。」</p> <p>○判定 「2. 教育内容」の判定を次のとおり修正する。</p> <p>「期待される水準を上回る」</p>

<p>教育を行うための専攻横断的カリキュラムを編成するなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。」との記載があります。しかしこれは、正しくは電気通信学研究科における取組であり、このことは「学部・研究科等の現況調査表（教育）」の2-9頁に記載してあるとおりです。以上の事情をご賢察いただき、【修正文案】についてご検討いただきますようお願いいたします。</p>	
--	--

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 2 電気通信学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育水準 4. 学業の成果 【判断理由】</p> <p>【原文】 「学業の成果に関する学生の評価」については、平成18年度に実施された学生アンケートによれば、大学院教育に関する調査では論理的思考力やコミュニケーション能力の育成にほぼ満足しているものの協調性・チームワーク力及び国際感覚の育成に不満が多い。</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更をお願いいたします。</p> <p>【修正文案】 「学業の成果に関する学生の評価」については、平成18年度に実施された学生アンケートによれば、大学院教育に関する調査では論理的思考力やコミュニケーション能力の育成にほぼ満足しているものの協調性・チームワーク力及び国際感覚の育成に<u>やや不満</u>とする回答が多い。</p> <p>【理由】 現況調査表2-19頁【資料H-1：「大学院教育に関する調査」（抜粋）】中、「Q16. 大学院の授業や研究室での教育による各種能力育成への満足度」によれば、「d 国際感覚・地球的視野」については「やや不満」が35.1%、「不満」が8.1%、「g 協調性・チームワーク力」については、「やや不満」が48.6%、「不満」が5.4%となってお</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p>

<p>り、いずれの設問においても、「やや不満」が「不満」を大きく上回っています。より実態に即した記述とするため、【修正文案】についてご検討いただきますようお願いいたします。</p>	
--	--

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 3 情報システム学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育水準 1. 教育の実施体制</p> <p>【判断理由】</p> <p>【原文】 (2段落目) 「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、平成16年度に大学教育センターを設置し、学生による授業評価、成績分布調査、FD研修会など、・・・</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更をお願いいたします。</p> <p>【修正文案】 「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、平成16年度に大学教育センターを設置し、学生による授業評価など、・・・</p> <p>【理由】 情報システム学研究科においては「成績分布調査」及び「FD研修会」は実施していないため【修正文案】についてご検討いただきますようお願いいたします。</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p>

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 3 情報システム学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 1 教育水準 2 教育内容 【判断理由】</p> <p>【原文】 「「教育課程の編成」については、研究科の目的に沿って基礎科目、専門科目等の科目区分の構成や内容が定められ、<u>学部教育との接続を考慮した体系的なものとなっており、修了要件も適切に設定されている。</u>さらに、「ITスペシャリスト育成プログラム」に採択され、<u>実践的ソフトウェア開発の教育を行うための専攻横断的カリキュラムを編成するなどの優れた取組を行っている</u>ことから、期待される水準を上回ると判断される。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更をお願いいたします。</p> <p>【修正文案】 「「教育課程の編成」については、研究科の目的に沿って基礎科目、専門科目等の科目区分の構成や内容が定められ、体系的なものとなっており、修了要件も適切に設定されていることから、期待される水準を上回ると判断される。」</p> <p>【理由】 「学部教育との接続を考慮した体系的なもの」および、「ITスペシャリスト育成プログラム」に採択され、実践的ソフトウェア開発の教育を行うための専攻横断的カリキュラムを編成するなどの優れた取組を行っ</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、判定と判断理由の一部を修正する。</p> <p>【理由】 現況調査表を再確認したところ意見のとおりであったため、以下のとおり修正する。</p> <p>○判断理由 「「教育課程の編成」については、研究科の目的に沿って基礎科目、専門科目等の科目区分の構成や内容が定められ、体系的なものとなっており、修了要件も適切に設定されている<u>などの相応な取組を行っている</u>ことから、期待される水準<u>にある</u>と判断される。」</p> <p>以上の点について、情報システム学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、情報システム学研究科が想定している関係者の「期待される水準<u>にある</u>」と判断される。」</p> <p>○判定 「2. 教育内容」の判定を次のとおり修正する。 「期待される水準<u>にある</u>」</p>

<p>ている」については、電気通信学研究科における取組であり、このことは「学部・研究科等の現況調査表（教育）」の2-9頁に記載してあるとおりです。【修正文案】についてご検討いただきますようお願いいたします。</p>	
---	--

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 3 情報システム学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育水準 4. 学業の成果 【判断理由】</p> <p>【原文】 (2段落目) 「学業の成果に関する学生の評価」については、平成18年度に実施された学生アンケートによれば、論理的思考力やコミュニケーション能力（発表能力を含む）の育成にほぼ満足しており、協調性・チームワーク力及び文章の読解力、国際感覚の育成に不満があるものの、・・・</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更をお願いいたします。</p> <p>【修正文案】 「学業の成果に関する学生の評価」については、平成18年度に実施された学生アンケートによれば、論理的思考力やコミュニケーション能力（発表能力を含む）の育成にほぼ満足しており、協調性・チームワーク力及び文章の読解力、国際感覚の育成に<u>やや</u>不満があるものの、・・・</p> <p>【理由】 現況調査表3-20頁【資料 I -1：「大学院教育に関する調査」（抜粋）】中、「Q16. 大学院の授業や研究室での教育による各種能力育成への満足度」によれば、「d 国際感覚・地球的視野」については「やや不満」が35.1%、「不満」が8.1%、「g 協調性・チームワーク力」については、「や</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p>

<p>や不満」が48.6%、「不満」が5.4%となっており、いずれの設問においても、「やや不満」が「不満」を大きく上回っています。より実態に即した記述とするため、【修正文案】についてご検討いただきますようお願いいたします。</p>	
---	--

学部・研究科等の研究に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 2 情報システム学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 研究水準 1. 研究活動の状況 【判断理由】</p> <p>【原文】 (3行目) ・・・当初4ステーションであったが、さらに活動を発展させるべく、<u>その一つであるe-learning推進センターを</u>発展的に解消し、・・・</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更をお願いいたします。</p> <p>【修正文案】 ・・・当初4ステーションであったが、さらに活動を発展させるべく、<u>そのうち一つは、「eラーニング推進センター」として</u>発展的に解消し、・・・</p> <p>【理由】 研究ステーションの一つである「先進E-Learning 研究ステーション」を発展的に解消し、新たに学内施設として「eラーニング推進センター」を立ち上げたものです。「学部・研究科の現況調査表(研究)」2-4 頁の「観点1-1 研究活動の実施状況(観点到る状況)(1) 研究ステーションによる活動」においても、このような趣旨の記述となっておりますので、【修正文案】についてご検討いただきますようお願いいたします。</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p>